

問29 現在、貴施設（病院）に所属する常勤の看護師（准看護師を含む）数は何人ですか。

_____人

問30 現在、貴施設（病院）に所属する常勤の介護職・看護助手の数は計何人ですか。

計_____人

問31 現在、貴施設（病院）に所属する常勤のソーシャルワーカー（MSW）は何人ですか。

_____人

問32 昨年度（平成 18 年 4 月～平成 19 年 3 月）、定年退職を含め退職した医師、看護師（准看護師を含む）、介護職・看護助手の数は、それぞれ何人ですか。

医師 _____人

看護師（准看護師を含む） _____人

介護職・看護助手 _____人

問33 昨年度（平成 18 年 4 月～平成 19 年 3 月）、職員が参加した学会、研究会、研修会のうち、旅費や参加費を施設で補助したものは何回ありましたか。ない場合は、0 とご記入ください。

医師が参加した学会 _____回

看護師が参加した学会 _____回

その他のスタッフが参加した学会 _____回



ご協力ありがとうございました。

報告書をお送りさせていただきますので、よろしければご連絡先をご記入ください。

所属部署：

お名前：





医師用
施設 ID

療養病床の運営に関する調査

2008年1月
日本老年医学会
高齢者介護システム検討委員会

この調査票のご記入は、常勤の医師の方にお願い致します

この質問票は日本療養病床協会のご協力の下、施設管理者（病院長）を通じてお願いしているものです。1年後に一部の患者様の経過を追跡するためこの用紙の上に ID が入っていますが、この回答を統計処理以外に用いることはいたしませんので率直にお答えいただければありがたく存じます。なお、回答後は同封の返信用封筒に入れて投函ください。

問1. 現在の施設（病院）に勤務した主な理由は次のうちどれですか。主なものを1つ選び○をつけてください。

- 6 高齢者医療を実践したかったから
- 7 勤務条件（当直や勤務時間）が合ったから
- 8 勤務条件（収入）が合ったから
- 9 通勤に便利だったから
- 10 その他（具体的に： _____)

問2. 高齢者医療で重要だと思うことは次のうちどれですか。該当するものをすべて選び○をつけてください。

- 1 認知症の医学知識とケアについて
- 2 医療処置の選択と実践
- 3 総合評価の考えに基づくチーム医療
- 4 在宅医療との連携
- 5 ケアの継続性と一貫性
- 6 転倒など老年症候群
- 7 新薬の知識と薬物療法の考え方
- 8 ターミナルの考え方と実践
- 9 その他（具体的に： _____)

問3. 現在の高齢者医療の現状についてのお考えは次のどれに近いですか。

- 1 現状のままでよい
- 2 もっと充実すべき
- 3 その他（具体的に： _____）

問4. 今回の療養病床再編についての考えは次のどれに近いですか。

- 1 賛成
- 2 どちらかという賛成
- 3 どちらかという反対
- 4 反対

問5. 後期高齢者医療制度改革についての考えは次のどれに近いですか。

- 1 賛成
- 2 どちらかという賛成
- 3 どちらかという反対
- 4 反対

問6. 現在の職場に満足していますか。

- 1 はい
 - 2 どちらともいえない
 - 3 いいえ
- （満足しない理由： _____）

問7. あなたが、昨年1年間に出席した学会、研究会、研修会は何回でしたか。

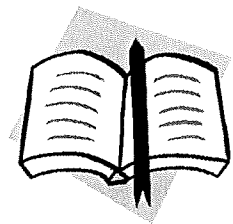
_____回

問8. 昨年1年間に出席した施設内（院内）研究会、研修会は何回でしたか。

_____回

問9. 研修など勉強のための時間を確保できていますか。

- 1 確保できている
- 2 どちらかという確保できている
- 3 どちらかという確保できていない
- 4 確保できていない



問10. あなたは総合的機能評価を行なっていますか。（総合的機能評価とは心身のさまざまな機能評価を組み合わせる医療ケアを決定していく手法のことです）

- 1 行なっている
- 2 一部行なっている
- 3 行なっていない

問11. 看護師、ソーシャルワーカーなどとのチームミーティングを定期的に行っていますか。
(はいの場合は頻度を1つ選んでください)

1 はい

(頻度: ①1回以上/日 ②3~5回/週 ③1~2回/週 ④1~3回/月 ⑤月に1回未満
⑥不定期)

2 いいえ

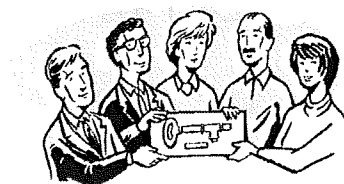
問12. チーム医療が適切に実践できていると思いますか。

1 できている

2 どちらかというとできている

3 どちらかというとできていない

4 できていない



問13. 歯科の診察を依頼するときに困ることはありますか。

1 困らない 2 あまり困らない 3 時々困る 4 いつも困る

問14. 整形外科の診察を依頼するときに困ることはありますか。

1 困らない 2 あまり困らない 3 時々困る 4 いつも困る

問15. 皮膚科の診察を依頼するときに困ることはありますか。

1 困らない 2 あまり困らない 3 時々困る 4 いつも困る

問16. 精神科の診察を依頼するときに困ることはありますか。

1 困らない 2 あまり困らない 3 時々困る 4 いつも困る

問17. 現在、自主的に学習していることがありますか。あれば簡単に記述してください。(在宅医療についての学習、介護保険制度についての学習など)

()

問18. 現在、学習したいと思っていることがありますか。あれば簡単に記述してください。
(在宅医療についての学習、介護保険制度についての学習等)

()

問19. 現在の仕事時間は平均して週何時間くらいですか

() 時間

問20. この1ヶ月で勤務時間外に緊急で電話対応した回数は何回ですか。

() 回

問21. この1ヶ月で勤務時間外に緊急で呼び出された回数は何回ですか。

() 回

問22. この1ヶ月で夜勤は何回ありましたか。

() 回



問23. 他の医師との関係はどうか。

1 大変良好 2 だいたい良好 3 ふつう 4 (あまり)良好でない

問24. 看護師との関係はどうか。

1 大変良好 2 だいたい良好 3 ふつう 4 (あまり)良好でない

問25. その他の職種との関係はどうか。

1 大変良好 2 だいたい良好 3 ふつう 4 (あまり)良好でない

問26. 現在の勤務の中で困っていること、悩んでいることはありますか。

1 ある 2 ない

→「ある」を選んだ方は、次のうち主なものを1つ選び○をつけてください。

- 1 診療や書類作成など勤務の多忙さ
- 2 医療処置の複雑さ、頻度の高さ
- 3 他の施設や機関との調整
- 4 職員間の関係
- 5 他科（皮膚科、整形外科など）への相談
- 6 その他（具体的に： ）

問27. 今後の勤務についてのあなたの考えは次のうちどれですか。次のうち主なものを1つ選び○をつけてください。

- 1 可能な限りこの施設での勤務を続けたい
- 2 早めに他の施設（病院）に移りたい
- 3 しばらくはこのまま勤務する
- 4 長く仕事を続けることはできない（病気、家庭事情、年齢などのため）

問28. あなたの年齢をお答えください。

- 1 20 歳代 2 30 歳代 3 40 歳代
- 4 50 歳代 5 60 歳代 6 70 歳以上

問29. あなたの性別をお答えください。

- 1 男性 2 女性

問30. 医師になって何年ですか。※ 端数切上 例：3年4ヶ月→4年

年

問31. この施設（医療機関）での勤務年数をお答えください。

※ 端数切上 例：3年4ヶ月→4年

年

問32. ご専門の診療科をお答えください。（内科あるいは消化器科など書き方は自由です）。

_____科



問33. 次のうち所属している学会すべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------|-------------------|-------------------|
| 1 日本内科学会 | 9 日本循環器学会 | 17 日本脈管学会 |
| 2 日本外科学会 | 10 日本精神神経学会 | 18 日本高血圧学会 |
| 3 日本老年医学会 | 11 日本整形外科学会 | 19 日本成人病（生活習慣病）学会 |
| 4 日本癌学会 | 12 日本糖尿病学会 | 20 日本認知症学会 |
| 5 日本血液学会 | 13 日本神経学会 | 21 日本動脈硬化学会 |
| 6 日本内分泌学会 | 14 日本腎臓学会 | 22 日本脳卒中学会 |
| 7 日本感染症学会 | 15 日本呼吸器学会 | 23 日本老年精神医学会 |
| 8 日本消化器病学会 | 16 日本リハビリテーション医学会 | |

問34. 次のうち専門医または認定医資格を持っている学会すべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------|-------------------|-------------------|
| 1 日本内科学会 | 9 日本循環器学会 | 17 日本脈管学会 |
| 2 日本外科学会 | 10 日本精神神経学会 | 18 日本高血圧学会 |
| 3 日本老年医学会 | 11 日本整形外科学会 | 19 日本成人病（生活習慣病）学会 |
| 4 日本癌学会 | 12 日本糖尿病学会 | 20 日本認知症学会 |
| 5 日本血液学会 | 13 日本神経学会 | 21 日本動脈硬化学会 |
| 6 日本内分泌学会 | 14 日本腎臓学会 | 22 日本脳卒中学会 |
| 7 日本感染症学会 | 15 日本呼吸器学会 | 23 日本老年精神医学会 |
| 8 日本消化器病学会 | 16 日本リハビリテーション医学会 | |

問35. 次の老年学関係の学会のうち所属している学会すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 日本老年医学会 | 4 日本老年歯科医学会 |
| 2 日本老年社会科学会 | 5 日本老年精神医学会 |
| 3 日本基礎老科学会 | 6 日本ケアマネジメント学会 |

ご協力ありがとうございました。

報告書をお送りさせていただきますので、よろしければお名前をご記入ください。

お名前： _____





利用者用
施設 ID

療養病床の利用者調査

2008年1月
日本老年医学会
高齢者介護システム検討委員会

この調査票のご記入は、相談員(ソーシャルワーカー)の方にお願いいたします

ご記入にあたってのお願い

急性期医療機関から貴施設に転院されて2ヶ月以内の患者様5名について、この調査票にご記入ください。記入後は同意書とともにまとめて同封の返信用封筒に入れて投函ください。

なお、来年秋に追跡調査を予定しているため、患者様のID記入欄を設けております。

問1 この調査票に記載された患者様は次のどちらをご利用されていますか。

- 1 医療療養病床 2 介護療養病床

問2 この調査票に記載された患者様のID(貴施設でのカルテ番号)を記入してください。

問3 患者様の生年月日を記入してください。

- 明治 大正 昭和
-

問4 患者様の性別を教えてください。

- 1 男 2 女

問5 患者様が入院した年月日を記入してください。

平成 年 月 日



問6 貴施設に移られるまでに患者様がいた急性期病院に入院される前は、患者様はどちらにおられましたか。

- 1 自宅（親戚宅も含む）、有料老人ホーム
- 2 他の病院（療養病床）
- 3 他の病院（療養病床以外）
- 4 老人保健施設
- 5 福祉施設、認知症グループホーム
- 6 その他（)



問7 現在、特別養護老人ホームに申請中ですか。

- 1 はい
- 2 いいえ

問8 医療区分について教えてください。

- 1 医療区分1
- 2 医療区分2
- 3 医療区分3
- 4 非実施

問9 ADL 区分について教えてください。

- 1 ADL1
- 2 ADL2
- 3 ADL3
- 4 非実施

問10 患者様の要介護度について教えてください。

- | | | |
|-----------|--------|--------|
| 1 非該当（自立） | 4 要介護1 | 7 要介護4 |
| 2 要支援1 | 5 要介護2 | 8 要介護5 |
| 3 要支援2 | 6 要介護3 | 10 非実施 |



問11 患者様の日常生活自立度(寝たきり度)は、以下のどれに該当しますか。

- 1 ランク J: 何らかの障害などを有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。
- 2 ランク A: 屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。
- 3 ランク B: 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ。
- 4 ランク C: 1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する。
- 5 わからない
- 6 自立

問12 患者様の認知機能の状態は、以下のどれに該当しますか。

- 1 ランクⅠ： 何らかの障害などを有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
- 2 ランクⅡ： 日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
- 3 ランクⅢ： 日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。
- 4 ランクⅣ： 日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
- 5 ランクⅤ： 著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医を必要とする。
- 6 わからない
- 7 自立

問13 現在、患者様に、医師から診断された病気がありますか。以下のうち、あてはまるものすべてに○をつけてください。(たとえば9と13が該当するときには両方とも○をつけてください) [Charlson Index, 1987]

- 0 診断された病気はない
- 1 虚血性心疾患 (心筋梗塞、バイパス術後、PTCA後、狭心症など)
- 2 心不全 (慢性、急性)
- 3 慢性肺疾患
- 4 胃十二指腸潰瘍
- 5 末梢動脈疾患
- 6 軽症の肝疾患
- 7 脳血管障害
- 8 膠原病 (関節リウマチを含む)
- 9 糖尿病
- 10 認知症
- 11 片麻痺
- 12 中等度～重症腎疾患
- 13 組織障害を伴う糖尿病 (腎症、神経症、壊疽、網膜症など)
- 14 5年以内に診断された原発性腫瘍
- 15 白血病
- 16 リンパ腫
- 17 中等症～重症の肝疾患
- 18 転移性腫瘍
- 19 AIDS
- 20 その他 ()



問14 現在、患者様は次のような状態にありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------|-------------------------|
| 1 経管栄養 | 7 疼痛管理 |
| 2 気管切開 | 8 人工透析 |
| 3 喀痰吸引 | 9 人工肛門 |
| 4 膀胱カテーテル | 10 中心静脈栄養 (IVH) |
| 5 褥瘡処置 | 11 モニター測定 (心拍・血圧・酸素飽和度) |
| 6 酸素療法 | 12 1～11 のどれもない |

問15 患者様と同居している(同じ敷地内に住んでいる)人は、合計何人ですか。患者様を含めてお答えください。

人

問16 患者様の「お世話を主にしている人 (主介護者)」に○をつけてください。患者さんからみた続柄でお答えください。(○は1つ)

- | | |
|----------------------------------|--------------------|
| 0 親族の主介護者はいない (老人ホームなどに入所の場合を含む) | |
| 1 患者さんの配偶者 (内縁を含む) | 9 孫の配偶者 |
| 2 息子 (配偶者あり) | 10 兄弟、姉妹 |
| 3 息子 (配偶者なし) | 11 その他の親族 () |
| 4 娘 (配偶者あり) | 12 ホームヘルパー |
| 5 娘 (配偶者なし) | 13 家政婦やお手伝いさん |
| 6 息子の妻 (嫁) | 14 近隣の人、知人、ボランティア |
| 7 娘の夫 (婿) | 15 民生委員、町内会、婦人会の役員 |
| 8 孫 | 16 その他 () |

問17 患者様の「お世話を主にしている人 (主介護者)」以外に、日常的に患者様のお世話や家事を手伝っている人がいますか。

- 1 いる 2 いない

問18 患者様がお住まいになっている家は次のどれにあたりますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|--|
| 1 一戸建ての持ち家 | |
| 2 一戸建ての賃貸 | |
| 3 集合住宅の持ち家 | |
| 4 集合住宅の賃貸 | |
| 5 その他 () | |

問19 患者様は生活保護世帯ですか。

- 1 はい 2 いいえ

問20 患者様は介護保険自己負担の限度額認定対象者ですか。

- 1 はい（利用者負担第1から第3段階）
2 いいえ（対象外、利用者負担第4段階）
3 わからない



- 記入した日付をご記入ください。

平成 年 月 日



- ご協力まことにありがとうございました。
報告書をお送りさせていただきますので、よろしければご連絡先をご記入ください。（記入は1枚のみで結構です）

所属部署：

お名前：



[本調査についての問い合わせ先]

日本老年医学会介護システム検討委員会委員長 高橋龍太郎
(東京都板橋区栄町 35-2 東京都老人総合研究所)

☎ 03-3964-3241 (内 3135 : 高橋・内 3136 算 (かけひ))

正会員各位

社団法人全国老人保健施設協会
会長 川合 秀治
(公印省略)

『老人保健施設の運営に関する実態調査』への協力について

昨今、医療の危機的状況がマスコミなどを通じてさかんに喧伝されていますが、その一因は実情と乖離した国の性急な制度変更や医療費削減の影響にあるといわざるを得ません。とりわけ今般の療養型医療施設の廃止、削減とそれに伴う老人保健施設への転換誘導の制度改定は、長期療養高齢者への適切なケア提供体制を歪める結果をまねく可能性があり、当協会でも申し入れや要望を行なってまいりました。これまで老人保健施設において行なわれてきた急性期治療後の在宅復帰をめざす長期療養高齢者へのケア提供は、高齢者の生活権、生存権と尊厳を守る立場から、質・量ともに今後も更なる充実が期待されているものと思われまます。

このたび日本老年医学会に設置された高齢者介護システム検討委員会より標記調査の協力依頼があり、当協会としても、その趣旨(別紙)に賛同し協力することに致しました。この調査の目的に挙げられている、長期療養高齢者の包括的状态像評価と焦点化された対応の重要性、および、複合多疾患をもつ高齢者の医療の専門性に立脚したケア提供の重要性が明らかにされれば、今後、現場からの行政施策に対する提言や、利用者が求める高齢者ケアに応える上での一助とすることができるのではないかと思います。

つきましては、この趣旨にご理解を賜り、調査にご協力くださるようお願いいたします。

『老人保健施設の運営に関する実態調査』ご協力をお願い

正会員 各位

日本老年医学会 理事長 大内 尉義
同 高齢者介護システム検討委員会委員長 高橋龍太郎

拝啓

最近の介護保険制度改革や医療制度の見直しの中で、各施設にあっては様々な変化が生じているかと存じます。私ども、日本老年医学会 高齢者介護システム検討委員会は、このような高齢者ケア現場の変化に対し、高齢者医療の立場から有益な情報や提言を提供していくために日本老年医学会内に設置された委員会です。

さて、このたび、療養病床をとりまく状況が大きく変化している中、老人保健施設の運営に関する様々な施設の現状をおうかがいいたしたく、調査票をお送りいたしました。ご多忙の中大変恐縮に存じますが、ご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。なお、本調査は全国老人保健施設協会の了承と協力のもとに実施しております。調査の結果は、まとまり次第、皆様のもとにお届けいたします。

末筆ではありますが、皆様のご多幸、ご発展を心よりお祈りいたします。

敬具

1 調査対象者と回答方法

調査票は「施設長用」と「利用者用」の2種類あります。

- 4) 「施設長用」の調査票には、施設の管理責任者の方がご記入ください。(一部数値の記入に関しましては可能であれば担当の事務の方にご依頼ください) 後半の医師を対象とした調査については、もし施設管理責任者が医師以外の場合は、貴施設の医師の方に記入を依頼ください。その場合調査票は封筒などに密封して「施設長用」の返信封筒と一緒にに入れて返送ください。
- 5) 「利用者用」の調査票は、医療機関から貴施設に転院されて2ヶ月以内の利用者様について、支援相談員に記入をご依頼ください。

ご記入いただいた調査票は、それぞれ該当する封筒を用いて平成20年6月30日(月)までにご返送くださいようお願い申し上げます(切手不要)。

2 プライバシー保護について

本調査に回答された情報に関しては、個人名が特定できないよう、回答と個人の名前を切り離して統計的に処理いたしますので、皆様のお名前が外部に出たり、回答が他人にもれたりすることは絶対にありません。また、研究以外の目的でデータを使用することは一切ありません。

3 本調査への協力について

この調査は強制ではありません。回答にあたって、お答えになりたくない項目がありましたら無理にお答え頂く必要はありません。そのことによって不利益を受けることは一切ありません。

4 問い合わせ先

日本老年医学会 高齢者介護システム検討委員会委員長高橋龍太郎 (東京都老人総合研究所)
〒173-0015 東京都板橋区栄町35-2 Tel : 03-3964-3241(内線3135) Fax : 03-3579-4776

『老人保健施設の運営に関する調査』ご協力のお願い
(ご本人様・ご家族様)

拝啓

2000年4月の介護保険施行以来、施設や医療機関においても様々な変化が生じているなかで、私ども、日本老年医学会 高齢者介護システム検討委員会は、このような高齢者ケア現場の変化に対し、高齢者医療の立場から有益な情報や提言を提供しております。

現在、老人保健施設や療養病床をとりまく状況が大きく変化しており、老人保健施設に入所されている方の実態を知ることは、今後の療養状況の改善を図る上で重要です。そこで、皆様の病状や介護の状況等をおうかがいいたしたく、現在入所されている施設に調査票をお送りいたしました。調査票の記入は、入所されている施設の支援相談員の方をお願いしております。また、現在の療養環境が与える影響を調べるため、半年後にも同様の調査をさせていただく予定です。本調査への協力に関して、同意いただけます場合は、同意書にご署名の上、支援相談員に提出をお願いいたします。

なにとぞ、この調査の意義、重要性をご理解いただき、ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

1 調査対象となった方

医療機関から現在入所中の老人保健施設に転所された利用者様

2 回答方法

支援相談員に調査票の記入を依頼しております。

3 プライバシー保護について

本調査に回答された情報に関しては、皆様のお名前が外部に出たり、回答が他人にもれたりすることは絶対にありません。また、研究以外の目的でデータを使用することは一切ありません。

4 本調査への協力について

この調査は強制ではありません。協力を希望されない場合は無理に協力する必要はありません。そのことによって不利益を受けることは一切ありません。

5 問い合わせ先

日本老年医学会 高齢者介護システム検討委員会委員長
(東京都老人総合研究所 福祉と生活ケア研究チームリーダー) 高橋龍太郎

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35-2

☎ 03-3964-3241 (内線 3135)

FAX : 03-3579-4776

『老人保健施設の運営に関する調査』ご協力をお願い

支援相談員 様

日本老年医学会 理事長 大内 尉義
同 高齢者介護システム検討委員会委員長 高橋龍太郎

拝啓

皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。さて、2000年4月の介護保険施行以来、施設や医療機関においても様々な変化が生じている中で、昨年より老人保健施設をとりまく状況も大きく変化しつつあります。私ども、日本老年医学会 高齢者介護システム検討委員会は、高齢者ケア現場の変化に対し、高齢者医療の立場から有益な情報や提言を提供していくために日本老年医学会内に設置された委員会です。今回、老人保健施設における医療の実態を知り、利用者の療養状況の改善を図っていくため、標記の調査を行うことにいたしました。そこで、利用者様の医療の実態等をおうかがいいたしたく、調査票をお送りいたしました。お忙しい中まことに恐縮ですが、なにとぞ、この調査の意義、重要性をご理解いただき、ご協力賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

なお、本調査は全国老人保健施設協会の了承と協力のもとに実施しております。調査の結果は、まとまり次第ご希望の皆様のもとにお届けいたします。

末筆ではありますが、皆様のご多幸、ご発展を心よりお祈りいたします。

敬具

1 調査対象

医療機関から貴施設に転所されて2ヶ月以内の利用者様 (最大5名まで)

※各利用者様、またはご家族様に同封された調査依頼状に理解頂き、同意書への署名をもらってください。同意書1枚目は私どもへの返送用、2枚目は貴施設保存用、3枚目は署名者用です。

2 回答方法

支援相談員様が各利用者様の状態について調査票にご記入ください。なお、回答後は同意書と共に、同封の返信用封筒に入れて平成20年6月末日までにご返送ください(切手不要)。

3 プライバシー保護について

本調査に回答された情報に関しては、個人名が特定できないよう、回答と個人の名前を切り離して統計的に処理いたします。また、半年後にも同様の調査を予定しているため、利用者様のID記入欄を設けておりますが、個人情報・回答を外部へ漏えいすることはありません。研究以外の目的でデータを使用することはありません。

4 本調査への協力について

この調査は強制ではありません。協力を希望されない場合は無理に協力する必要はありません。また、そのことによって不利益を受けることは一切ありません。

5 お問い合わせ先

日本老年医学会 高齢者介護システム検討委員会委員長 高橋龍太郎

(東京都老人総合研究所 〒173-0015 東京都板橋区栄町35-2)

Tel : 03-3964-3241(内線3135) Fax : 03-3579-4776



施設長用
施設 ID

老人保健施設の運営に関する調査

2008年 6月

日本老年医学会

高齢者介護システム検討委員会

この調査票のご記入は、施設の管理責任者の方にお願い致します

この質問票は施設の管理責任者の方をお願いしているものです。半年後に一部の利用者様の経過を追跡するためこの用紙の上に ID が入っていますが、この回答を統計処理以外に用いることはいたしませんので率直にお答えいただければありがたく存じます。なお、回答後は同封の返信用封筒に入れて投函ください。

問1 あなたの年齢をお答えください。

- | | | | | | |
|---|-------|---|-------|---|--------|
| 1 | 20 歳代 | 2 | 30 歳代 | 3 | 40 歳代 |
| 4 | 50 歳代 | 5 | 60 歳代 | 6 | 70 歳以上 |

問2 あなたの性別をお答えください。

- 1 男性 2 女性

問3 医師になって何年ですか（医師でない場合は、職種をご記入ください）。

※ 端数切上 例：3年4ヶ月→4年

年 職種 _____

問4 貴施設での勤務年数をお答えください。

※ 端数切上 例：3年4ヶ月→4年

年

問5 施設長に就任して何年ですか。 ※ 端数切上 例：3年4ヶ月→4年

年

問6 ご専門の診療科をお答えください。（医師でない場合は無記入で結構です。内科あるいは消化器科など書き方は自由です）

_____科

問7 今回の療養病床再編についての考えは次のどれに近いですか。

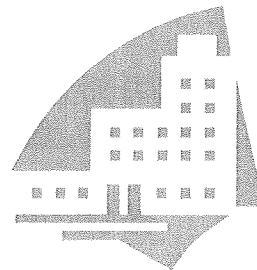
- 1 賛成 2 どちらかという賛成 3 どちらかという反対 4 反対

問8 後期高齢者医療制度改革についての考えは次のどれに近いですか。

- 1 賛成 2 どちらかという賛成 3 どちらかという反対 4 反対

問9 貴施設はどのようなところに立地していますか。(○は1つ)

- 6 住宅密集地域
7 住宅散在地域
8 商業地域
9 工業地域
10 その他(具体的に:)



問10 貴施設には、認知症高齢者に対応する専門棟がありますか。

- 1 ある 2 ない

問11 貴施設で総合的機能評価を行なっていますか。(総合的機能評価とは心身のさまざまな機能評価を組み合わせる医療ケアを決定していく手法のことです)

- 1 行なっている 2 一部行なっている 3 行なっていない 4 わからない

問12 貴施設には、地域交流のプログラム(花見・夏祭り・クリスマス会など)がありますか。

- 1 はい 2 いいえ

問13 貴施設では、学生や実習生を定期的に受け入れていますか。

- 1 はい 2 いいえ

問14 貴施設ではボランティアを受け入れていますか。

- 1 はい 2 いいえ

問15 貴施設内では研究活動がおこなわれていますか。

- 1 はい 2 いいえ

→ 昨年度1年間で、施設内で行った研究会、研修会の回数は何回ですか。

_____回

→ 年間の研修計画を立てる担当者が決まっていますか。

- 1 はい 2 いいえ

問16 貴施設では、サービスの向上のために、業務改善委員会やQCサークルのような部門横断的な活動を行っていますか。

- 1 はい 2 いいえ



※ 以下では統計データに関する質問が含まれます。もし可能でしたら事務担当の方にお答えをご依頼ください。なお、医師への質問が「5ページ」に続きます。

問17 貴施設は建設（最後の改築）から何年経過しましたか。

※ 端数切上 例：3年4ヶ月→4年

_____年

問18 昨年度（平成19年4月～平成20年3月）の利用者平均在所日数（実日数）は何日ですか。

_____日

問19 貴施設の定床数をお答えください。

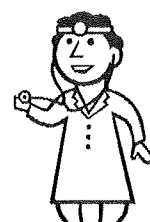
_____床

問20 昨年度（平成19年4月～平成20年3月）の貴施設からの退所人数をお答えください。また、その内訳をそれぞれご記入ください。

合計	_____	人
そのうち、		
→ 死亡退所数	_____	人
自宅（子供さんや親族の家も含む）退所数	_____	人
一般病床転院数	_____	人
療養病床転院数	_____	人
他の老健への転所数	_____	人
特養ホームへの転所数	_____	人
その他	_____	人

問21 現在、貴施設に所属する常勤医師は何人ですか。

合計 _____人



問22 現在、貴施設に所属する常勤の看護師（准看護師を含む）数は何人ですか。
合計_____人

問23 現在、貴施設に所属する常勤の介護職の数は計何人ですか。
合計_____人

問24 現在、貴施設に所属する常勤の支援相談員は何人ですか。

合計_____人

問25 昨年度（平成19年4月～平成20年3月）、定年退職を含め退職した常勤の医師、看護師（准看護師を含む）、介護職の数は、それぞれ何人ですか。

医師	_____人
看護師（准看護師を含む）	_____人
介護職	_____人